

絵本のまち三島

アナ： 「市長が語る 2024 三島」第7回の今日は、「絵本のまち三島」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 三島市では今年度から「絵本のまち三島」という取り組みを進めていくということですが、絵本と三島はどのような関わりがあるのでしょうか？

市長： 三島市はこれまでも、児童文学者の小出正吾さん、詩人の大岡信さんなど一流の文化人を輩出してまいりましたが、現在では、著名な絵本作家の宮西達也さんやえがしらみちこさんなどがお住まいになり、ギャラリーなどを開いていらっしゃいます。

加えて、家庭文庫「てんとうむし文庫」やオーナー制の私設図書館「あひる図書館」などのように絵本と出会う場所にも恵まれております。

アナ： なるほど、人気の絵本作家の方々が三島市にいらっしゃるんですね。

市長： そこでこのような絵本とのつながりを活かし、文化の振興はもちろんのこと観光や福祉、教育なども含めた幅広い分野において、絵本が持つ力を魅力あるまちづくりに繋げるとともに、あらゆる世代の市民のウェルビーイングの実現を官民一体となって目指すのが「絵本のまち三島」の取り組みです。

4月26日には、三島にゆかりのある絵本作家の方4名に立会っていただき、絵本のまち三島宣言を行い、市内外に向けて広く「絵本のまち」のスタートをPRいたしました。

アナ： 絵本のまちとしてのスタートを切ったということでなんだかワクワクしますね。具体的にどのような企画を予定されているのか教えていただけますか。

市長： はい。

現在、「絵本のまち三島」のシンボルとなるロゴマークを募集しております。

また、11月には三島市民生涯学習センターで、宮西達也さんとえがしらみちこさんによるトークライブを開催する予定です。

ロゴマークは、絵本のまちを象徴する大切なものですので、多くの皆さんに応募していただき、素敵なデザインになるといいなと思っています。

トークライブにつきましては、開催日が近づきましたら、広報みしまなどでお知らせいたしますので、楽しみにしててください。

アナ： これらの企画以外にも、さまざまな企画を予定されているそうですが。

市長： はい。

5月26日（日）には、みしま花のまちフェアの一環として、ゆうゆうホール屋外広場を活用した絵本マルシェを開催いたします。

キッチンカーを出店してのブックカフェ、青空図書館や絵本にちなんだ

ワークショップを行います。

6月以降も宮西達也さんによるワークショップや、父親向け絵本読み聞かせ講座「おやじと読もうぜ」をはじめ、絵本箱作りワークショップなど、皆さんに楽しんでもらえるイベントを予定しております。

アナ： 市民の方が気軽に参加できそうなイベントですね。

その他の取り組みはいかがでしょうか。

市長： その他の取り組みとしては、商店様などと連携し、お店におすすめの絵本などを置いていただく「まちかど絵本箱」、絵本作家をはじめ様々な方による学校などでの絵本の読み聞かせ、静岡県舞台芸術センターSPACと連携し、絵本を題材としたミニ演劇を幼稚園や保育園で実施する「SPACおはなし劇場」などを開催してまいります。

このほか、図書館では、三島ゆかりの絵本作家の方の作品や、子どもから大人まで楽しめる絵本を紹介する「絵本のまち三島コーナー」を常設するなど、年間を通じて幅広く、絵本のまちづくりを進めてまいります。

アナ： 子どもから大人まで楽しめる取り組みが盛りだくさんで、とても楽しみです。

市長： ありがとうございます。

なお、11月30日が絵本の日でありますことから、特に11月を絵本月間として、関連事業を集中的に実施していくことを考えております。

絵本を愛する皆様と力をあわせ、「三島には絵本がある」と市民の皆さんが身近に感じていただき、笑顔で心豊かに過ごしていただけるようなまちにしたいと思っております。

アナ： 本日は「絵本のまち三島」についてのお話を伺いました。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。